

平成23年度 事業報告

サッカー事業

1、地域スポーツ振興に関する事業（普及）

1) 地域選手強化活動協力事業

県および地区サッカー協会と連携して、各種強化育成事業（優秀選手育成事業）に指導者を派遣した。

- ・指導者：モンテディオ山形育成普及コーチ
- ・回数：26回

2) 「ふれあいフィールド」幼稚園、保育園および小中学校の授業支援事業

①幼稚園、保育園及び小中学校へ指導者を派遣し、保育時間や授業の中でサッカーを中心としたスポーツ指導を実施した。

- ・指導者：育成普及コーチ
- ・回数：97回
- ・参加者：4,552名

②山形県教育委員会の後援を受け小学校の総合的な学習授業にゲストティーチャーとしてモンテディオ山形選手を派遣、夢について語り合う「夢クラス」を実施した。

- ・派遣者：選手31名
- ・回数：16回
- ・参加者：890人

3) 地域活動派遣事業

地域行政・団体等が主催する公益的キャンペーン、講演会・セミナーなどへの参加、協賛を通し事業の成功、並びに地域スポーツの振興に貢献した。

- ・派遣者：理事長、モンテディオ山形監督、コーチ、選手、スタッフ等
- ・回数：38回

4) 地域サッカー教室指導者派遣事業

各地域でのサッカー教室開催やイベントへ指導者を派遣した。

参加者総数：2,584名（普及1,874名）

①J1リーグホームゲーム開催日にサッカー教室を実施した。

- ・指導者：モンテディオ山形育成普及コーチ、選手
- ・回数：8回

②各地域行事におけるスポーツ教室の支援を行った。

- ・指導者：モンテディオ山形育成普及コーチ、選手
- ・回数：17回

2、ジュニアスポーツの振興に関する事業

1) ユースチームの活動(高校生)

①活動拠点：山形市、天童市

1. 山形銀行研修センターグラウンド
2. 第一貨物教育センター体育館
3. 山形県総合運動公園第二運動広場

②指導者：監督1名コーチ3名

③選手数：39名

④練習回数：週6回

⑤大会実績

- ・第17回東北クラブユース選手権大会 第2位
- ・第35回日本クラブユース選手権大会(U-18) 予選リーグ敗退
- ・JFAプリンスリーグU-18東北1部 第3位
- ※2012年は東北1部リーグ残留
- ・2011Jユースカップ 予選リーグ敗退
- ・第15回山形県総合サッカー選手大会 3回戦敗退
- ・第9回東北クラブユース新人大会 準優勝

2) ジュニアユースチームの運営(中学生)

<ジュニアユース村山>

①活動拠点：山形市、天童市

1. 山形銀行研修センターグラウンド
2. 第一貨物教育センター体育館
3. 山形県総合運動公園第二運動広場

②指導者：監督1名コーチ2名

③選手数：53名

④練習回数：週4回～5回

⑤大会実績

- ・第22回山形県べにばな杯ジュニアユース大会 第6位
- ・第26回日本クラブユースサッカー選手権大会 山形県大会優勝
- ・同 東北大会 ベスト8
- ・第23回高円宮杯ユースサッカー選手権大会 東北大会 ブロック優勝
- ・同 全国大会 1回戦敗退
- ・2011みちのくリーグ(南東北ブロック) 第3位

<ジュニアユース庄内>

①活動拠点：鶴岡市、酒田市

1. TDKグラウンド
2. NEC山形体育館
3. 板垣鉄工アリーナ
4. 羽黒高校室内練習場

②指導者：監督1名コーチ3名

③選手数：49名

④練習回数：週5回～6回

⑤大会実績

- ・第26回日本クラブユースサッカー選手権大会 予選リーグ敗退
- ・第23回高円宮杯ユースサッカー選手権大会 東北大会ブロック準決勝敗退
- ・2011みちのくリーグ（南東北ブロック） 第4位

3) サッカースクールの設置

<モンテディオ山形サッカースクール村山>

- ①対 象： キッズ(幼児年長)、ジュニア(小学1～6年生) 214名
- ②活 動 日： 5月～3月 各クラス年間42回 週1回
キッズ～ジュニアDクラス(年長児～小学4年生) 火曜日か金曜日
ジュニアE,Fクラス(小学5,6年生) 水曜日か木曜日
- ③活動場所： 1. 山形銀行研修センターグラウンド 2. 第一貨物教育センター体育館
3. 山形県総合運動公園第二運動広場

<モンテディオ山形サッカースクール置賜>

- ①対 象： キッズ～ジュニアCクラス(年長児～小学3年生) 36名
- ②活 動 日： 5月～3月 年間42回(土曜日または日曜日)
- ③活動場所： 1. NECパーソナルプロダクツグラウンド
2. サクサ(株)米沢事業場体育館

<モンテディオ山形サッカースクール庄内>

- ①対 象： 鶴岡コース ジュニア(小学1～5年生) 44名
酒田コース ジュニア(小学1～5年生) 49名
- ②活 動 日： 5月～2月 各コース年間40回
※鶴岡コースは木曜日、酒田コースは水曜日
- ③活動場所： 1. 飯森山公園多目的グラウンド 2. 国体記念体育館 3. かんぼの郷ス
ワンドーム 4. ルネサス山形スポーツアリーナ 5. 小真木原総合運動
公園東多目的広場 6. 板垣鉄工体育館

3、県民のスポーツ意識向上に資する事業

1) 「J1リーグ」公式試合

開催期間：3月5日～12月3日に渡り、NDソフトスタジアム山形（天童市：べにばなスポーツパーク）において実施した。成績は5勝6分23敗の第18位の成績で、J2降格。

2) 「ナビスコカップ」公式戦

開催期間：6月5日及び7月27日の両日、一回戦浦和レッズを埼玉スタジアム及びNDソフトスタジアム山形（天童市：べにばなスポーツパーク）において実施した。成績は2敗で、一回戦敗退。

3) その他の公式試合への参加

第91回天皇杯全日本サッカー選手権大会へ出場し、3回戦にて敗退した。

- ・ 2回戦 モンテディオ山形 対 ブラウブリッツ秋田（秋田県代表）「2-0」
- ・ 3回戦 モンテディオ山形 対 京都サンガ 「2-3」

会場：NDソフトスタジアム山形（天童市）

4、青少年の健全育成に資する事業

1) J1公式試合への県内小中高生の無料観戦

①対象試合：J1リーグホームゲーム17試合、ナビスコカップトーナメント戦
1試合

②試合会場：NDソフトスタジアム山形（天童市）

③入場者数：約10,334名（平均574名）

5、その他目的を達成するための必要な事業

1) スポーツを通じた福祉推進

①福祉施設入居者や障害者に、公式試合への無料招待を行うとともに、児童福祉施設等への訪問など福祉事業との連携・協力を図った。

対象試合：J1リーグホームゲーム18試合（3/6～12/4）

試合会場：NDソフトスタジアム山形（天童市）

入場者数：310名（平均17名）

②東日本大震災により山形県内に避難している被災者に、公式試合への無料招待を行った。

対象試合：J1リーグホームゲーム2試合（8/13、10/1）

試合会場：NDソフトスタジアム山形（天童市）

入場者数：139名（平均70名）

女子駅伝その他スポーツ振興事業

1、女子駅伝事業

1) 実施合宿

全国都道府県対抗女子駅伝競走大会や、国民体育大会等全国大会等全国大会で活躍できる選手の確保・育成するために、各種大会へ選手の派遣や強化合宿を実施した。

①年間強化合宿：16回（県内－11回・県外－5回）

2) 主な大会出場

①第30回全国都道府県対抗女子駅伝競走大会

田中幸選手4区（4km）山形県チーム第14位

②第54回札幌国際ハーフマラソン

田中幸選手（9位）

③第36回蔵王坊平クロスカントリー大会 4000m 田中幸選手（優勝）

- ④第27回東日本女子駅伝 田中幸選手は9区(10km)出場 山形県チーム第13位
- ⑤第30回山陽ロードレース大会 田中幸選手(14位)

3) 普及・指導活動

①市町村への派遣及び普及

高島ロードレース(高島町)南沼原小(山形市)蔵王一小(山形市)長岡小(天童市)成生小(天童市)川西町陸上教室(川西町)村山市徳内マラソン(村山市)南陽市さわやかマラソン(南陽市)山形TFC(通年)山形城北高校(通年)

2、その他のスポーツ振興事業

1) 介護予防事業

Jリーグの「百年構想」の具現化の一環として、ホームタウン自治体を中心に関係方面の支援を得て、地域で生活するシニア世代の方々の生涯を通じた心身の健康に寄与することを目的とし、介護予防事業を実施した。

モンテディオ山形シニアフィットネス

セントラルコース 参加者：53名(2グループ)7月～11月 計18回

出張コース 参加者：50名(山形市) 計3回

2) スポーツプラザ21の運営

県民の多様なスポーツとの関わりの促進と地域の活性化を目的として、スポーツプラザ21(山形市七日町)の運営管理を行った。

3) 「スポーツふれ愛」推進事業

本県に本拠地を置くプロスポーツチームや本県関係トップアスリートに関する活動紹介及び情報提供、各種イベントの企画を「スポーツプラザ21」を拠点として実施し本県スポーツ振興を図るとともにスポーツを通じた地域の活性化にも結び付けていくための業務を行った。

4) キャラクター活用事業

村山地域の観光施設等や県内外イベントにおいて、モンテディオ山形のマスコットキャラクターを活用したPR活動を行い、モンテディオ山形ホームゲームへの観戦促進及び観光誘客活動の促進による地域経済の活性化を図った。